

「きれいだなあというと 景色がなおきれいになる」

校長 桐野 和之

皆さんは「言葉」が力をもっているということを信じますか。日本には昔から「言霊」という言葉があり、言葉は魂をもっていると信じられてきました。「魂」ということは「心がある」ということです。私たちの口から出た言葉は、周りの人に影響を及ぼす力があるのです。

また、日本には古くから「以心伝心」という言葉もあり、強く心に思っていれば何も言わなくても相手の心に通じるものという考えもありました。でも、やはり思っているだけでは相手に通じにくいものです。

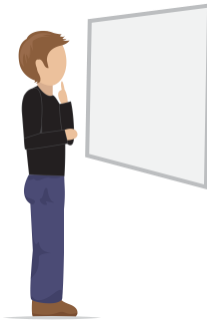
ところで、皆さんは高村光太郎さんという人を知っていますか。彫刻や詩をつくった人として知られています。この高村光太郎さんが、「きれいだなあという景色がなおきれいになる」と言ったそうです。私はこの言葉を聞いて、ますます言葉は大事だなと思いました。感動したことを言葉にして伝えると、その感動を広げることができます。そして自分の気持ちをあらためて確認することにもなります。

高村光太郎さんは奥さんの智恵子さんととても仲が良かったそうです。智恵子さんも感情豊かな人で、「東京には本当の空がない。本当の空が見たい。」と言ったそうです。智恵子さんのふるさは安達太良山が見える緑豊かなところでした。それが東京に出てきて空を見あげると、自分のふるさより空気が汚れていて、あまりきれいな空ではありません。光太郎さんは、智恵子さんの気持ちを大切に、ふるさとの空を見せてあげようと一緒に旅をします。そこで、きれいな景色に出合い、感動して、言葉を発します。きれいなものを見たときに人は感動するのです。それを自分の心の中でそっと大事にする事もあるでしょう。でも、その感動を素直に、「きれい」と言葉にすると、周囲の人に伝えることができます。それは、その景色の美しさにあまり関心のなかった周りの人にも気づかせることにもなります。また、自分の声が自分の耳に返ってきて、その景色の美しさは、目からだけでなく、耳からも入り、全身で感じることができるのです。

言葉には不思議な力があります。思っているだけだと、曖昧に感じることで、表現すると、確かなことになります。また、表現した言葉は自分に返ってくるものです。だからこそ優しい思いやりのある言葉を使わなくてはならないのです。相手を「馬鹿」と言ったら、自分に「馬鹿」と言っていることと同じになります。言葉のもつ影響力は大きいものです。優しい言葉は、ほかほかした温かな雰囲気をつくり出し、汚い言葉は、とげとげした殺伐とした空気をつくり出します。

高村光太郎さんが言った「きれいだなあという景色がなおきれいになる」ということを「がんばるぞという、なおがんばれるようになる」とか「だれかに『きれいな字だ』って褒められたからなお字をていねいに書くようになった」とかにかえてみたらどうでしょうか。自分で言ったこと、友だちに言われたことで、自分の心に強く訴えるものが生まれ、さらに良い方向に向かっていきそうです。たった一つの言葉によって、人は、嬉しくなったり、悲しくなったりすることは皆さんも経験していることだと思います。自分の心に感じた、明るいきれいな感情を素直に言葉に表し、全ての人を楽しめる雰囲気でも過ごせるようにしたいものです。

自分の口から出る言葉が、大きな力をもっていることを忘れずに言葉を大切にしたいものです。



互いを慮る運動会

体育行事委員 菅原 考裕

「令和のスタートを全力でかけぬける運動会にしよう！」をスローガンに臨んだ第57回運動会。天候にも恵まれ、今年度も無事に終わることができました。

学校全体としては「教員の姿が見えない運動会。」を目指して生徒への指導を行ってきました。細かな組織体制のなかで、生徒一人一人が自らの役割を懸命に果たそうとする姿をご覧いただけだと思います。競技については、男子の意地とプライドを懸けた組体操。何度もメンバーを入れ替えて作り上げた4段タワー。成功した瞬間に会場全体が感動に包まれ、三年生男子の誇らしい顔に三年間の成長を感じました。

また、「青春」を今年度のテーマとした女子創作ダンスでは、プロジェクト生徒が放課後遅くまでの残り、試行錯誤を繰り返しながら自分たちだけのダンスを作り上げていきました。その成果は運動会当日に笑顔として表れていました。縦割り集団での取組である応援合戦では、三年生を中心に各クラスの応援リーダーが力を合わせ、群団ごとに個性豊かな応援を考えていました。

今回の運動会を通して、生徒一人一人が互いを支えることの大切さを学ぶことができたと感じています。互いの意見を尊重し、気持ちを合わせるにより、大きな目標を達成できるという気持ちをこれからも大切にしたいものです。

今年度も地域の方々をはじめ、保護者の皆様に沢山のご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



「自分の背中」

朝礼講話5 / 27より

皆さん、さんまさんを知っていますよね？司会などで大変面白いですね。

ところで、そのさんまさんは自分が出演するテレビは必ず録画をしておいて休みの日に必ず見るそうです。そして「ああ、ここはこういった方が良かった。この表情は良くない」と点検します。

さらに、若手タレントを家に呼んでその録画を見せ、意見を聞きます。そのときに、「さんまさん、本当に面白いですよ。ばっちりですよ。」と自分を褒めるタレントはもう相手にしません。逆に「もう一つだと思います。こんな感じの方が良いと思います。」というタレントはまた家に呼びます。なぜだか分かりますか。人間というのは、誰でも「叱られるよりは、褒められると嬉しく気分が良いものです。」でも、さんまさんは「自分の背中では自分では見えない」ということをしっかりと知っているタレントさんなのです。

皆さんは自分の顔や姿を見ることができます。しかし、自分の背中は見えません。人からの注意は「あなたの背中にはゴミが付いていますよ」と言ってくれているのと同じなのです。だから人の注意を聞かない人は、やがて「背中にゴミをいっぱい付けて歩いている人」となってしまいます。

前から見ると「美しい姿。着ている服も高そう」。でも、通り過ぎて振り返ると、その人の背中には汚いゴミがいっぱい付いている。瞬間、皆さんは「何だ、あれっ?!」と笑いものにします。さん



まさんは、録画を見せて注意を聞くのも、すばらしい芸をすればするほどゴミが付くのを知っているからなのです。

皆さんも人から注意されることがありますね。その時にこそ人からの注意をしっかりと聞いて、自分の背中のゴミを落としてください。人からの注意は背中のゴミを落としてくれるものです。本当は感謝しなければならないのです。

海外派遣の抱負

3年A組 二木 日海留

今年度、オーストラリア海外派遣候補生になりました、3年A組の二木日海留です。

突然ですが、私は役者になりたいという夢があります。その役者になるには、私はある疑問を解決しなくてはなりません。そのため、この海外派遣を希望しました。

表現方法、それは役者に欠かせないものです。その方法は、表情、身振り、言語などがあります。それらを役に合わせ豊かに演ずる、これが演技です。しかし演技は自分のためではなく相手のためにすることであり、どんな人が見ても自分が思う役と一致する役を演じる必要があります。すなわち、私にはどんな人が見ても分かる表現方法を習得しなければならないのです。

ところが、3年生になり心理学に少々興味をもってからこんな疑問が生まれました。未知の世界に入った人間は、生き延びるためにどのような行動をするのかということです。何とかして相手に伝えたいとき、まずは手が動くのだろうか。足か、口か、それとも何にもできなくなってしまうのだろうか。そう思うとワクワクしませんか？そして、もし自分の思いが伝わったのなら、そのとき初めてこの方法で表現すれば相手は言語が分からなくて伝わるのだ、と分かるはずです。

また、私が海外派遣生になったからには、自分だけのメリットにはしません。最近SNSが存在するために世界中の人と交流することができます。それに知りたいことはgoogle先生が教えてくれます。言葉なんて薄い壁です。でも本当にそれで良いのでしょうか？人間としてこれからの日本を支える立場として良いのでしょうか？今こそネットがなくなったとしても生きていける力を身に付けるべきです。だから私はオーストラリアへ行き、学んだ表現の技術を伝えたいと思います。

私の海外派遣生の一歩が将来へ続く架け橋となるよう、全力で頑張ります。



2年D組 八幡 直生

僕が海外派遣でオーストラリアに行って、頑張りたいことが三つあります。一つ目は挨拶です。挨拶は人とのコミュニケーションをとる第一歩なので、挨拶をすることはとても大事だと思います。挨拶と言ってもはきはきと大きな声で、笑顔ですることをいつでも心がけたいです。

二つ目は、日本の事をオーストラリア人に伝えることです。僕がオーストラリア人で、日本のことを知る立場だったら衣食住や文化のこと、あるいは学生だったら一日の学校生活などのことについて知りたいので、そのようなことをオーストラリアに行って人々に伝えたいです。そして、そのことで会話を弾ませ、コミュニケーションをとり、コミュニケーション能力を上げ、それをこれからの学校生活や将来につなげて生かしていきたいです。

三つ目は、オーストラリアについて学ぶことです。僕は、オーストラリアのことについて、特に学校生活と学校に通っていないときの日常生活について学びたいです。学校生活は日本とオーストラリアの違いを見付け、その情報を日本に持ち帰り、学校の仲間に伝えて、日本での学校生活の参考にしたいです。学校に通っていないときの日常生活では、どんな遊びをしているのか、それ以外に何をしているかを調べて、みんなに伝え、オーストラリアのことを良く知ってもらいたいようにしたいです。

最後に、僕はオーストラリアに行くためにこの三つの目標を胸に刻み、事前学習をしっかりと、準備を整えて海外派遣に挑みたいと思います。



部活動等の報告

剣道部

◇第3ブロック春季剣道大会：令和元年5月19日(日)

結果：男子団体 貫井中0-4 佼成学園 一回戦敗退

女子団体 貫井中5-0 中野第5中

貫井中0-4 國學院久我山 二回戦敗退



バスケットボール部

◇練馬区総合体育大会：令和元年6月9日(日)・16日(日)・23日(日)

結果：男子ベスト8

1回戦 貫井中85-53 開進二中

2回戦 貫井中69-65 三原台中

3回戦 貫井中49-67 武蔵中 (3回戦敗退)

女子ベスト8

1回戦 貫井中63-36 開進一中

2回戦 貫井中65-42 都立大泉

3回戦 貫井中35-102 中村中 (3回戦敗退)



柔道部

◇東京都中学校春季女子柔道大会：令和元年6月9日(日)

結果：女子団体戦 第5位

[先鋒 3年村井・中堅 3年中村・大将 3年池上]

○一回戦 貫井中2-1 国士館中 ○準々決勝 貫井中0-1 修徳中

○順位決定戦 一回戦 貫井中3-0 葛飾区立本田中

二回戦 貫井中1-1 渋谷教育学園渋谷中 (内容負け)

◇東京都中学校春季柔道大会：令和元年5月19日(日)

結果：男子団体戦 第5位

○一回戦 貫井中4-1 台東区立忍岡中

○二回戦 貫井中4-0 葛飾区立水元中

○準々決勝 貫井中3-2 安田学園中

○準決勝 貫井中0-5 国士館中

○順位決定戦 貫井中0-5 武蔵野中

◇東京都中学校第3ブロック柔道大会：令和元年6月23日(日)

結果：女子団体 優勝

女子個人 40kg級 2位 室井 風華 3位 木下 音々

44kg級 2位 佐久間 吉花 3位 鎌田 緋奈 3位 橋上 葵

48kg級 1位 須貝 菜々子 3位 中村 華菜 3位 山田 紫乃

52kg級 1位 関口 莉子

57kg級 1位 松尾 優奈 2位 歌住 実希

3位 岡田 恵 3位 保戸塚 夏未

63kg級 2位 村井 暁音

70kg級 1位 中村 添

70kg超級 1位 池上 桃香

◇東京都中学校第三ブロック柔道大会：令和元年6月23日(日)

結果：男子団体 優勝

男子個人 50kg級 1位 川中 大輝 55kg級 3位 石田 優汰

60kg級 1位 中村 連音 66kg級 3位 長谷川 瑛希

73kg級 2位 小林 知生 73kg級 3位 槇 優太

81kg級 2位 細田 真大 90kg級 1位 安藤 泰基

